

SFC BYOD(Bring Your Own Devices/ノートパソコン必携化)のお知らせ

湘南藤沢キャンパス(SFC)では1990年の開設当初より総合政策・環境情報の両学部でコンピュータを活用した多くの授業が実施されてきました。すでに多くの学生は自身のノートパソコンを用いてレポートやノートの作成、作品の制作、データ分析等を行っています。

SFC ではこれまで、多くのパソコンを特別教室に設置していましたが、2020年春学期より κ 、 ε 、 ι 、および \omicron 特別教室からパソコンを撤去し、個人所有のノートパソコンを授業や学習に利用する SFC BYOD(Bring Your Own Devices)をより大きく推進することとしました。

新入生の方は、入学ガイダンスまでに自身のノートパソコンを必ず準備してください。これを通じて、学生がパソコンを電子的な文房具として使いこなすための情報スキルや情報リテラシーの向上を図るとともに、SFC として必要な環境整備を実施していきます。

ただし、入 特別教室とメディアセンターのパソコンはこれまで通り使用できます。

ノートパソコンの推奨仕様は以下の通りです。入学までに準備してください。ただし推奨仕様を満たすパソコンを既に所有している場合は、新たに購入する必要はありません。

ディスプレイ:	解像度 Full HD (1920×1080) 以上 (推奨)
キーボード:	タッチタイピングに支障のない標準的な大きさと配列を備えたもの
バッテリー:	標準バッテリーでの駆動時間が3時間以上
無線 LAN(Wi-Fi):	IEEE802.11a/ac/n (5GHz 帯)以上、IEEE802.11ac/ax だとなお良い
メインメモリ:	8GB (推奨)、16GB 以上だとなお良い
内蔵ディスク(HDD/SSD):	256GB 以上
CPU:	Intel 製 Core i5 相当以上または Apple M1 以上 (推奨)、Intel 製 CPU の場合は Core i7 以上だとなお良い
外部出力:	HDMI が内蔵端子あるいはアダプタ経由で出力できること
OS:	macOS 12 (Monterey) 以降または Windows 10 以降のいずれかが動作すること
その他:	電源延長ケーブル(電源アダプタが狭い場所のコンセントに差し込めない形状の場合)

SFC の学生が無料で使用できるソフトウェアの一例です。これらのソフトウェアは大学が契約して、学生本人が所有、専用するパソコン上で無償で使用できるものです。

Microsoft 365 Apps、Mathematica、MATLAB、SPSS/Amos、SAS、JMP、ArcGIS など

詳細は、湘南藤沢情報センター (湘南藤沢 KIC) の Web サイト上の各種ソフトウェアに関する情報を参照してください。

https://www.sfc.itc.keio.ac.jp/ja/software_sfc.html

ノートパソコンへソフトウェアを導入する際は、不正利用とならないよう、利用資格や手続き等について必ず確認してください。

学生が所有するパソコンは、SFC のキャンパスネットワーク(CNS)に Wi-Fi で接続できます。また授業や学習、グループワーク等で使用する記憶領域として、Dropbox(容量無制限)等を提供しています。

問い合わせ先

入学前:アドミッションズ・オフィス(ao-request@sfc.keio.ac.jp)

入学後:メディアセンター1階 CNS サービス窓口

https://www.sfc.itc.keio.ac.jp/ja/contact_sfc.html

(参考)塾生パソコン(慶應義塾生活協同組合)

<https://text.univ.coop/puk/START/keio/pc/sfc.html>